

令和2年度 第四次恐竜化石発掘調査計画

1 調査目的

恐竜博物館が勝山市北谷で行った第三次恐竜化石調査（平成19年度から22年度まで実施）では、新種の竜脚類フクイティタンや、全身の70パーセント以上が保存された小型獣脚類フクイベナートル、イグアノドン類コシサウルスを発見し報告した。

第四次恐竜化石調査は、平成25年度から始まり、これまでアンキロサウルス類の歯やオルニトミモサウルス類の四肢骨、フクイプテリクス（令和元年度命名）を発見した。ここ数年、骨化石密度の高いエリアに到達し、予定より時間をかけて調査を行っている。

令和2年度は、下流側に残っている同じ層準を慎重に発掘調査を行い、小型の脊椎動物化石やスピノサウルス類など獣脚類の追加標本などの発見を目指し、万全な調査を行う。

2 調査期間

令和2年7月27日（月）から9月5日（土）までの41日間

3 調査予定地

勝山市北谷町大字杉山94字土倉山7, 8

4 調査予定面積

約150平方メートル

5 調査関係者

名誉団長 東 洋一（恐竜博物館名誉顧問・福井県立大学名誉教授）

調査団長 竹内 利寿（恐竜博物館館長）

調査副団長 一島 啓人（恐竜博物館研究・展示課課長）

野田 芳和（恐竜博物館指導研究員）

調査主担当 柴田 正輝（恐竜博物館主任研究員・福井県立大学恐竜学研究所准教授）

調査副担当 関谷 透（恐竜博物館研究員）

調査担当 寺田 和雄、宮田 和周、中田 健太郎、菌田 哲平、湯川 弘一、中山 健太郎、
静谷 あてな、築地 祐太、安里 開士（以上、恐竜博物館研究職員）、河部 壮
一郎、今井 拓哉・服部 創紀（以上、恐竜博物館研究職員・福井県立大学恐
竜学研究所教員）

調査員 大学教官、理科系教員など

調査協力 勝山市教育委員会および勝山市小中学校理科研究会

その他 本年度の調査は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国の大学生や
大学院生の調査補助員の参加は実施しないこととします。